



浜の話題

【6月】三浦半島西岸各地：密漁対策

6月、三浦半島西岸各地の漁協は、共同漁業権漁場管理委員会、支所運営委員会及び理事会等で夏の密漁対策について打合せを行いました。各地で海水浴や磯遊び客が多く来訪する7～8月を中心に、密漁監視や来訪客への呼びかけを重点的に実施します。

貝類などの定着性の水産資源は、たとえ1個だけ獲ったとしても多くの来訪客が獲れば枯渇してしまいます。漁業者が魚介類を大切に守り育て、生活の糧として営む共同漁業権に基づく漁業に深刻な被害をもたらしますので、ご理解をお願いいたします。



密漁監視のイメージ

【6月】三浦半島各地：テングサ漁

6月になって、三浦市内ではテングサの刈り取りや日干し作業が行われています。城ヶ島の船揚場でも漁業者が採ったばかりのテングサを干すために広げていました。



浜でのテングサ干し

【6月】藤沢：「湘南はまぐり」が大人気

6月のバーベキューシーズンに入って、湘南漁協藤沢支所の「湘南はまぐり」が人気です。「湘南はまぐり」は、県の「かながわブランド」・「JF全漁連PRIDEFISH」・市の「ふじさわ特産品」ト

リプルタイトルのブランド品ですが、ブランドの売り通り大きく旨味豊かな「湘南はまぐり」が同支所「湘南はまぐり直売所」で直売されています。地域の料理店や観光ホテルに加えて、バーベキュー用にまとめて10個以上お買い求めされる一般のお客様も多く見られます。直売所は水～日曜日10～15時営業(朝市 第2土曜日9:30～15:00)なので、湘南漁協藤沢支所ブログで販売状況をご確認の上、ぜひご利用下さい。

湘南漁協藤沢支所ブログ <http://jfxfujisawa.blog.fc2.com/>

湘南はまぐり直売所 (藤沢市) <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/nousui/documents/hamaguri.html>

大磯プリンスホテルの「湘南はまぐり」紹介サイト <https://www.princehotels.co.jp/gourmet/shonan/>



湘南はまぐり直売所



立派な特大サイズのはまぐり

【6月6、11、12日】平塚：はまぐり特別採捕調査

6月6日、平塚市漁協ではまぐり特別採捕調査が始まりました。同漁協は、地先に2017年から(公財)相模湾水産振興事業団の支援を受けて種苗放流していますが、これまで本格的な採捕はありませんでした。2名による鋤簾調査で6日は3.3kg、11日は1kg弱、21日は1.4kgと少ない採捕量でしたが、6、21日の調査では、放流個体より小さな25mm未満の稚貝じょれんが7～9個確認できたことから、平塚沿岸でも再生産が行われ、はまぐり資源が根付いていることがわかり、今後資源が増えることが期待されました。



調査で採捕されたはまぐり(6月10日)



25mm未満の稚貝(6月21日、計測後放流)

【6月10、24日】江の島片瀬：「江の島はまぐり部会」発足

6月10日、江の島片瀬漁協で「江の島はまぐり部会」の発足に向けた勉強会を開催しました。当日は、はまぐりの資源増殖・管理規程策定のため、先進地である藤沢や鎌倉の事例を普及員が説明し、江の島地区でも、資源保護のための大きさ制限や禁漁期、漁協の水揚歩金に加えて、部会での獲るほど資源が増える放流歩金(漁獲個数の3.3倍種苗放流)設定について協議しました。24日に「江の島はまぐり部会」が発足し、初代会長は浜野展行青年漁業士(湘南丸)が選任され、はまぐり資源増殖・管理に同部会員が一丸となって取り組んで行くことになりました。



10日の勉強会の様子



24日の「江の島はまぐり部会」発足の様子

【6月11日】漁業士会：役員会

6月11日、かながわ県民センター(横浜市)で令和6年度第2回漁業士会役員会が開催されました。蒲谷会長の挨拶に引き続き、漁業士研修会、関東・東海ブロック漁業士研修会、漁業者交流大会等の議題について協議しました。

漁業士研修会及び交流懇談会は、10月8日(火)に横浜市内で開催する運びとなりました。詳細が決まりましたらご案内いたしますので、奮ってのご参加をお願いします。

【6月12日】長井、佐島：ヒラメ種苗放流

6月12日、長井町漁協と湘南漁協佐島支所は、三浦半島西岸の小田和湾において、(公財)神奈川県栽培漁業協会及び(一財)横須賀市西部水産振興事業団とともに、ヒラメの種苗をそれぞれ22,000尾及び10,800尾放流しました。



岸壁からの放流(長井)



船からの放流(佐島)

【6月12、13日】小田原市漁協青年部：視察研修

6月12日から13日にかけて、小田原市漁協青年部は視察研修のため、茨城県大洗町と行方市を訪問しました。同部会員ら15名が参加し、大洗町漁協と霞ヶ浦漁協の施設や取組について説明を受けました。港に人を呼び込む活動や販売方法の工夫に関する取組を知る、とても良い機会になりました。



魚市場荷捌き施設



霞ヶ浦漁協座学研修

【6月中下旬】しらす協議会：「湘南しらすと菜飯のおむすび」セブンイレブンで発売

6月13日から30日にかけて、神奈川県と包括協定を締結しているセブンイレブンの「いいじゃん！かながわフェア」で、「湘南しらすと菜飯のおむすび」が県内の約1500店舗で販売されました。実食したしらす協議会会員からも、「釜揚げしらすのぷりっとした食感と小松菜の歯応えがアクセントとなり、おいしい！」と好評でした。

神奈川県の「いいじゃん！かながわフェア」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/prs/r0499329.html>

「湘南しらすと菜飯のおむすび」しらす協議会ホームページ

<https://shonan-shirasu.org/1328/>



「湘南しらすと菜飯のおむすび」



釜揚げしらすのぷりっとした食感がおいしい！

【6月17日】腰越：マコガレイ種苗放流

6月17日、腰越漁協は、地先で、(公財)相模湾水産振興事業団の支援を受けて、マコガレイの種苗を放流しました。



岸壁からの放流



船からの放流

【6月18日】長井：トラフグ説明会

6月18日、当センターは、長井町漁協のトラフグ漁業の漁業者グループ「福会」を対象に、トラフグの研究について説明会を開催しました。資源調査の担当者が2023年漁期のトラフグ漁況及び標本船調査について説明をし、種苗生産の担当者がトラフグの種苗生産の様子を紹介しました。



トラフグ資源や漁況等の説明



種苗生産の紹介

【6月20日】腰越：漁協の朝市

6月20日、腰越漁協は、漁協事務所前で朝市を開催しました。定置網で獲れたトビウオやアジ、刺網で獲れたカマス等をお値打ち価格で販売しました。

朝市は、毎月第1、第3木曜日に10時から開催しています。



たくさんの来訪客



カマスやトビウオの販売

【6月20日】小田原：浮魚礁設置

6月20日、小田原市漁協遊漁船部会は小田原沖の3地点にパヤオを設置しました。この魚礁は回遊性魚類の蛸集を図り、新しい漁場を造成することを目的に毎年設置しているものです。設置した漁業者は、今後、キハダやカツオ等が蛸集して近場の好漁場になることを、期待しています。



設置されたパヤオ

【6月24、25、27日】小田原：食害生物捕獲活動

6月24、25、27日、小田原藻場再生活動組織は藻類を食害する魚類の捕獲を行いました。普段と異なる場所や時間に刺網を仕掛けることで、ブダイを中心に、アイゴ、ニザダイ、タカノハダイなどが捕獲されました。今後、秋頃にも食害生物の捕獲活動を行う計画です。



捕獲されたブダイ



捕獲されたアイゴ

【6月27日】鎌倉、腰越：鎌倉市主催の勉強会

6月27日、湘南漁協鎌倉支所及び腰越漁協は、七里ガ浜浄化センターにおいて、鎌倉市が主催した「鎌倉の海をより良い豊かな海へ向けた勉強会」に参加しました。勉強会には、漁業者、民間企業、行政が参加し、それぞれがもつ知見の情報交換を行い、当センターは「早熟性カジメを活用した藻場再生の取組み」の取組みを紹介しました。

漁業者による取組みに、当センターが技術開発した早熟性カジメの種苗の活用、市の事業や民間企業の取組を組み合わせることにより、藻場の再生が期待されます。

【6月27日】しらす協議会：役員会

6月27日、しらす協議会は湘南漁協鎌倉支所で役員会を開催しました。当日は、役員会の前に、県水産課より水産業福祉連携推進事業について説明があり、本事業を推進している県水産課及びNPO法人から、県内の水産連携の事例として湯がきわかめ干し作業やヒジキ製品の選別作業、また県外の事例としてしらす漁の荷捌き支援等が紹介されました。役員会では、「湘南しらす」のイメージキャラを作ろうという提案がありました。

水産業福祉連携推進事業 問合せ 水産課 水産企画班045-210-4542 小林

水産業福祉連携推進事業 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/suifuku.html>



水産業福祉連携推進事業についての説明の様子

【6月28日】大磯二宮：勝（勝鯉丸）さんが表彰

6月11日、二宮沖で釣ったサメに噛まれてSUP(パドルで漕ぐサーフボード)が破損し漂流する水難事故が発生し、水難救済会に所属している勝浩樹(勝鯉丸(しょうりまる))さんが救助しました。当日の功績を称えて、28日に海上保安庁から表彰されました。勝さんは「最近はSUPやカヤック等のマリレジャーが増えた一方で漂流事故も多い。海は危険と隣合せなので、道具や天候の変化等に十分に注意して欲しい！」と話されています。



人命救助で海上保安庁から表彰された大磯二宮漁協所属 勝(勝鯉丸)さん

【7月2日】小釣漁業連絡協議会：総会

7月2日、県内の一本釣り漁業者で構成される神奈川県小釣漁業連絡協議会の総会が、当センターで開催されました。宮川均会長のあいさつに始まり、会議では、令和5年度事業・決算報告や令和6年度事業計画・予算の承認などが行われました。総会終了後には当センター職員2名から、「小釣の重要対象魚種の動向」、「黒潮流路変動による沖ノ山周辺の海況変化」の2題の話題提供が行われ、出席した漁業者からは今後の海況の動向や底魚漁模様について質問がありました。

お知らせ

はまぐり、サザエ等を採らないでください

海水浴、磯遊び等で神奈川の海に来られる一般の方々は、はまぐり・アワビ・サザエ等の貝類、イセエビ、タコ、ナマコ等共同漁業権の対象となっている水産動植物を採らないでください。これらを採ると漁業権侵害となる恐れがあります。ほとんどの海域で共同漁業権が設定されており、漁業者は生活の糧として、魚介類を大切に守り育てています。

【7月15日】漁師の日に漁業就業支援フェア2024開催

7月15日(月・祝)漁師の日に、東京都立産業貿易センター浜松町館 2階(東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝)で、漁業就業支援フェア2024が開催されます。神奈川県からは、大磯二宮漁協の湘南定置と二宮漁場、小田原市漁協定置部、福浦定置網、住吉漁業、県・県漁連が参加します。海や魚が好きでやる気のある方、ぜひご参加ください。

漁師.jp「漁業就業支援フェア2024」紹介サイト

<https://ryoushi.jp/fair/>